

第8回関西環境教育合同研究大会のご案内 (第2報)

○開催日：2025年2月8日(土) 9:30~17:00 (9:00 受付開始)

○開催地：滋賀大学大津サテライト (JR大津駅前)

○テーマ「持続可能な社会を目指し、地域から発信する環境教育」

持続可能な社会を妨げる、気候変動に伴い災害を多発する自然と、人間生活に様々な恵みを供給する自然との共生をグローバルな視点に立って、国際的な動向を踏まえ、地域での実践事例に基づき、これからの環境教育・啓発の在り方を探ります。

○基調講演 藤岡達也氏 (滋賀大学)「気候変動・多発する自然災害と地域の自然の恩恵を理解する環境教育」

人間活動が自然環境を激変させていることから、「人新世」が新たな地質時代区分に提唱されました。最終的に否決されましたが、その意味は環境教育の視点からも再検討される必要があります。気候変動など環境変化による自然災害を踏まえ、災害と恩恵という自然の持つ二面性に、身近な地域からどのように向き合っていくかを考察します。

○シンポジウム「自然の恵みに気づき、地域から発信する環境教育」

コーディネーター：藤岡達也氏 (滋賀大学大学院教育学研究科)

中野友博氏 (びわこ成蹊スポーツ大学)

畑田 彩 氏 (京都外国語大学)

シンポジスト

桑原康一氏 (滋賀県立琵琶湖博物館・主査)

大前宣徳氏 (森林環境学習「やまのこ」専任指導員)

野村祐美子氏 (琵琶湖河川レンジャー)

滋賀県では、これまでも琵琶湖流域を中心に様々な環境教育に取り組まれてきました。ここでは、その特色ある実践事例を紹介するとともに、自然の二面性を理解するために、発達の段階に応じて自然の恩恵に気づき、滋賀県にとどまらない、これからの時代を創る地域の環境教育の在り方を探ります。

○プログラム

9:00 受付開始

9:30 一般研究発表

12:30 昼食・休憩

13:30 開会挨拶

基調講演「気候変動・多発する自然災害と地域の自然の恩恵を理解する環境教育」

シンポジウム「自然の恵みに気づき、地域から発信する環境教育」

16:30 閉会挨拶

16:30～17:00 交流会

17:30～19:30 懇親会（大津駅前）

○参加費：一般・大学院生・・・2,000円（大学生、専門学校生、高校生無料）

※研究大会終了後には懇親会（5,000円）を予定しています。

○参加申込：当日参加可能

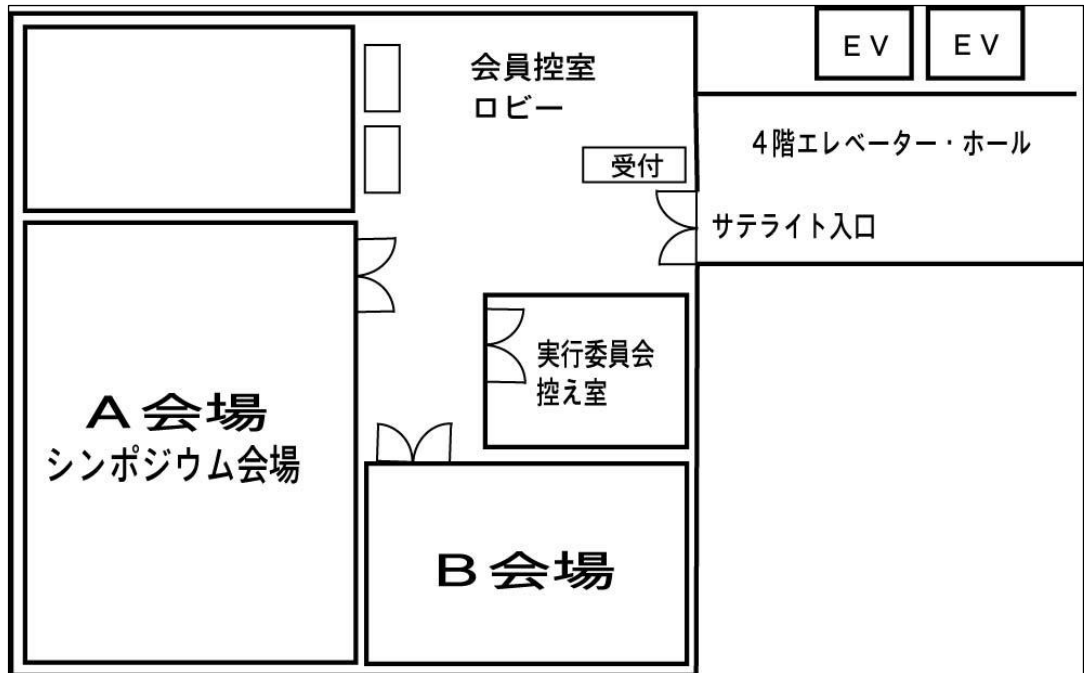
※この研究大会について参加および研究発表は対面のみとなっております。

○主催：一般社団法人日本環境教育学会関西支部・関西環境教育学会

○会場地図



○会場見取り図（4階：滋賀大学大津サテライト）



<参加者のみなさまへ>

1. 食事について

- ・大学サテライトには食堂・コンビニはありませんので、昼食はご持参いただくか、会場周辺のコンビニ、レストランをご利用ください。
- ・昼食を館内で召し上がる場合は、A会場、B会場および参加者控室が利用できます。なお、ごみはお持ち帰りください。

2. 交通経路について

- ・会場へは公共交通機関をご利用ください。

3. 喫煙について

- ・学内は禁煙になっておりますので、おタバコはお控えください。

研究発表プログラム

A会場「環境教育実践・指導者養成・教育研究」

| No. | 発表時間 | 発表者 「題目」 | 座長 |
|-----|-------------|---|----------------------|
| A-1 | 9:30～9:50 | 植田善太郎(元泉大津市立小学校)「星空観望会の教育的意義Ⅱ—めじろ公園星空観望会 2年間のまとめ—」 | 江田慧子 (関西学院大学) |
| A-2 | 9:50～10:10 | 阿部利也((公社)日本シェアリングネイチャー協会・甲南大学大学院修士課程)「オンラインを活用した自然体験講習会の成果と課題—指導者養成講座参加者アンケートをもとに—」 | |
| A-3 | 10:10～10:30 | 前田良治(株式会社チクマ)「衣服の歴史—伝統的染め織物 靱皮繊維を中心に—」 | |
| A-4 | 10:30～10:50 | 江田慧子(関西学院大学)・菅原伸康(関西学院大学)「知的障害者と昆虫との関わりに関する実践報告」 | 植田善太郎 (元泉大津市立小学校) |
| A-5 | 10:50～11:10 | 新玉拓也(魚と子どものネットワーク)「地域での環境教育の活動と情報の拠点づくり—三重県亀山市における魚と子ども Kids クラブの取り組み—」 | |
| A-6 | 11:10～11:30 | 中村和彦(東京大学)「山梨県甲斐市の中学生を対象とした森林認識に関するアンケート結果の検討」 | |
| A-7 | 11:30～11:50 | 佐々木啓(和歌山大学観光学部)「域学連携による『地場農産物を活用した新商品の開発』実習—和歌山県広川町における和歌山大学観光学部地域連携プログラム—」 | |

B会場「環境教育史・理論研究・その他」

| No. | 発表時間 | 発表者 「題目」 | 座長 |
|-----|-------------|---|------------------|
| B-1 | 9:30～9:50 | 田端祐介（大阪府立大阪わかば高等学校）「高等学校理科における環境教育の潜在性—『生物基礎』、『地学基礎』、『科学と人間生活』の実践に基づく検討—」 | 荻原彰 （京都橘大学） |
| B-2 | 9:50～10:10 | 天野雅夫（神戸親和大学非常勤）「日本人の自然観について～災害の記録を手がかりにして～」 | |
| B-3 | 10:10～10:30 | 渡辺理和（甲南大学他非常勤講師）「環境教育における自然の关系的価値に関する検討—自然の権利、動物の権利の系譜から—」 | |
| B-4 | 10:30～10:50 | ○水山光春（元京都教育大学）・上畑直久（京都市立西賀茂中学校）・弘田真基（京都市立久世中学校）・亀井隆次（京都市立小栗栖中学校）「京都市における交通環境教育の展開—『歩くまち・京都』学習を通して—」 | |
| B-5 | 10:50～11:10 | 福島古（グローバル環境文化研究所）「安全文化教育の展開とその諸問題について（10）」 | 水山光春 （前京都橘大学） |
| B-6 | 11:10～11:30 | 本庄眞（名張市桔梗南小学校および清和大学非常勤講師・大阪公立大学客員研究員）「『場』に応じた水辺環境学習の試み—その成果と課題—」 | |
| B-7 | 11:30～11:50 | 新田和宏（近畿大学）「日本環境教育史における『系統』と『系譜』に関する研究—日本環境教育全史研究序説—」 | |

<発表についての注意事項>

* 研究発表は一件20分（口頭発表15分+質疑応答5分=計20分）になります。発表中、呼び鈴が、12分経過（1鈴：口頭発表終了予告）、15分経過（2鈴：発表終了、質疑応答の開始）、20分経過（3鈴【発表終了】）に鳴ります。

* 発表者は自分の発表開始の、少なくとも30分前までに会場にお入りください。

* パワーポイントを使用する場合は、データファイル（pptもしくはpptxファイル）をCD-RかUSBメモリーに入れて各自ご持参下さい。会場での使用パソコンはWindowsです。別途配布する資料がありましたら、各自で20部程度を印刷の上お持ちください。

* 別途配布資料がありましたら、各自で20部程度を印刷の上お持ちください。

○お問合せ先：関西環境教育合同研究大会実行委員会事務局

公式ホームページ：http://www.ee-kansai.com/joint_am/

メール ee.kansai@gmail.com FAX 078-431-1022